国労盛岡

発行所　国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行者　沢田　光広
編集者　横内　俊博
TEL 019-622-5021
メールアドレス
nrumori@poem.ocn.ne.jp

2019.6.10
第1530号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを
皆の力で」

「一緒に解消しませんか、
あなたの疑問。
加入まってます」

950人集結

再稼働を許さず、核燃施設の廃止を

「4・9反核の日」全国集会・青森

1985年4月9日、当時の青森県北村知事は県議会全員協議会で、核燃サイクル施設の受け入れを表明しました。前年、電気事業連合会からの立地要請を受けて一年を経ずに受け入れたことに、青森県民が怒りの集会を開いたことからはじまった「4・9反核燃の日全国集会」も今回で34回目を迎えました。

高速増殖炉「もんじゅ」の廃炉が決まり、核燃サイクルの失敗は決定的になっていますが、青森県内では六ヶ所再処理施設や大間原発の建設が続いており、政府の原発推進の方針に変わりはありません。私たちは原発の再稼働を許さず、すべての核燃施設を廃止させ、再生可能エネルギーへの転換を求める闘いをしっかりと進めていかなければなりません。（今報告は、高瀬貴弘青森支部執行副委員長）

集会・デモ行進で訴え

5月の晴れ渡った青空のもと、青森市の青森駅前公園において5月11日14時から「第34回4・9反核燃の日全国集会」が開催されました。会場には、北は北海道から南は鹿児島まで全国各地から950人（主催者発表）が結集し、すべての核燃施設の廃止を求め大きく声を響かせました。

＝集会の行われた青森駅前公園＝

集会は青森県平和労組会議の赤平事務局長の司会で進み、主催者として原水爆禁止日本国民会議の藤本事務局長と青森県反核実行委員会の三上委員長が挨拶、基調報告は反核実行委員会の斎藤事務局長により行われました。続いて全国からの報告として泊原発のある北海道平和フォーラムの難波事務局長、福島第一・第二原発のある福島県平和フォーラムの角田代表、そして柏崎刈羽原発のある新潟県平和運動センターの有田事務局長が現地での闘いを報告しました。

集会アピールは核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会の戸川さんにより提起され採択されました。閉会の挨拶は核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団の浅石代表がおこない、県平和労組会議の阿部議長の「団結ガンバロー」で市内デモ行進に出発、青森市民に核燃施設廃止や原発再稼働反対を訴えました。

また、デモ行進終了後、ねぶたの家「ワ・ラッセ」において「原水禁全国交流集会」が開催され、翌12日にはフィールドワークとして六ヶ所核燃サイクル施設と大間原発での現地行動が取り組まれました。

各集会を通じて明らかにされたことは「廃炉の決まった『高速増殖炉もんじゅ』の原子炉容器内を満たしている液体ナトリウムは取り出しを想定しておらず、放射能を帯び、空気に触れれば発火し、水に触れると爆発する危険なナトリウムの抜き取りができない」ことや「再処理工場に集められた原発の使用済燃料はウランとプルトニウムと高レベル廃液に分けられるが、最も怖い高レベル廃液は冷却できなくなると24時間で沸騰し始め、35時間で水素爆発を起こし北日本に大きな被害を及ぼす」こと、そして「これまでの核燃サイクルをはじめとした政府の原子力政策がすでに破たん状態にあり、核燃サイクルの30兆円にのぼる総事業費はまだまだ垂れ流し続けられる」ことなど、核燃は私たちの安全で平和な生活を脅かし日本を破滅に導く危険な存在であることです。次の世代に明るい未来を引き継げるよう、核燃廃止の世論を大きく結集し、すべての原子力施設を廃止に追い込むよう闘いを強化していきましょう。

推薦候補の当選に全力を

＝第25回参議院議員選挙＝

第25回参議院議員選挙が7月4日告示、同月21日（日）の日程で予定されている。

地方本部もすでに別掲の比例代表の吉田ただとも（社会民主党公認）、岩手・青森県選挙区の野党統一候補の横沢たかのり（岩手県）・小田切さとる（青森県）予定候補3氏を推薦決定している。

今選挙は、「沖縄県の米軍基地の撤去」「原発再稼働阻止」「憲法改正に向けた改憲発議をさせない」など、安倍政権の暴走に歯止めをかけ、平和と民主主義、人権と生存権を守っていくうえでも大切な選挙。各地区で推薦候補の議席確保に向け取り組もう。同時に棄権するとなく投票することを訴えていこう。

▽比例代表

吉田ただとも（前）63歳
社会民主党公認

【プロフィール】
1956年大分県臼杵市生まれ。九州大学卒業。大分県庁に入職し農業技術者として、県内の農村整備事業などに従事。県職労書記長・委員長を歴任。県議会議員3期。2010年参議院議員に当選。2013年党首就任（2期）。2016年参議院選挙で惜敗。

▽岩手選挙区

横沢たかのり（新）47歳
無所属（野党統一候補）

【プロフィール】
1972年岩手県矢巾町生まれ。盛岡工業高校卒業。1995年モトクロス国際A級ライセンス取得、全日本モトクロス選手権参戦。1997年事故により脊髄損傷で車いす生活へ。チェアスキー選手となり、バンクーバーパラリンピックで大回転座位21位。

▽青森選挙区

小田切さとる（新）62歳
立憲民主党（野党統一候補）

【プロフィール】
1957年青森県弘前市生まれ。北海道大学法学部卒業。1991年弁護士登録。2000年小田切達法律事務所開設（弘前市）。現在「STOP秘密保護法つがるの会」代表。「市民カフェ弘前」店主（弘前市を考える集い）。◇

200人の参加で国政など学習会

平和環境岩手県センター

「写真左から仲村・横沢さん」

平和環境岩手県センターが主催する「ルーキーからベテランまで国政、私たちの未来について学ぶ・知る・考える5・25県民集会」が5月25日、14時から岩手教育会館多目的ホールで開催され、約200人が参加した。集会には、7月に開催される参議院岩手選挙区予定候補者の横沢たかのりさんと、参議院比例代表社会民主党予定候補の仲村みおさんを迎え、「平和な世界とノーマライゼーションの社会をめざして」と題し、青年協議会のパネリスト3人とファシリテータの中川理恵さん（岩手県職員労働組合）を交え、パネルディスカッション形式で質疑や討論を行った。

青年からは、インクルーシブやノーマライゼーション（障害がある人もない人も分け隔てなく共に生きること）について、車いすでの生活を余儀なくされている横沢たかのりさんの考え方や、沖縄市出身の仲村みおさんに沖縄の青年運動の取り組み状況など、活発な意見交換が行われた。

安心して平和に暮らし戦争のない日本にするため、第25回参議院議員選挙に勝利し、改憲勢力を3分の2割れに追い込もう。

当面の主な日程

▽6月13日（安比）
第24回地方本部ゴルフ大会
▽6月15～16日（雫石）
第26回東日本本部工務協交流会
▽6月20日（盛岡）
第9回地方本部執行委員会
▽6月29日（盛岡）
相互援護会第58回定例総代会
佐高信文化塾1回目
▽7月6日（盛岡）
第27回盛岡地方貨物協議会定期委員会
▽7月13日（東京）
東日本本部「職場過半数代表者交流会」
▽7月20日（盛岡）
東北貨物協議会役員会・学習会
▽7月24日（盛岡）
東日本本部運輸協議会「東北3地本ブロック交流会」

ていこう

今年も5月3日に全国各地で「護憲」「改憲」それぞれの立場で集会等が開催された▼1945年9月2日ポツダム宣言を受け入れ、日本は「非軍事化」「民主化」を受け入れる事になった。その2日後、明治憲法下で全ての統治権を握っていた昭和天皇が、戦後初の国会を召集し「平和国家を確立して人類の文化に奇寄せんことをこいねがう」と自ら勅語を読み上げて、新たな日本の建設に向けて天皇が「平和国家」と言う目標を初めて掲げ天皇の「人間宣言」と共に、戦後日本の方向性が示され、教育の現場にも「平和国家の確立」機運が広まり平和主義の出発点となった▼日本国憲法は憲法理念として、「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」の三つを大きな柱としている。改憲派グループが押し付けられたと主張する憲法の基となったGHQ草案には、「戦争の放棄」及び「戦力の不保持」は明記されていたが平和の文言は無かったと言われている▼1946年7月25日、国会内で各政党から法律に詳しい14人の議員が集まり、帝国憲法改案委員小委員会が秘密裏に開催され、第9条の条文「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」が書き加えられた▼政党の区別なしに議論を交わし、天皇、政府、国民が一致して平和を望んでいたこともあり、積極的に国際平和を求める国にすることで、二度と戦争を繰り返さないと世界に宣言。こうして平和憲法が誕生した（阿）

推せん候補の議席確保に支援を

◇岩手県統一選挙（7月から9月）◇

岩手県内における統一地方選挙が7月から9月にかけて施行される。国労の推薦する予定候補者は7月14日告示・21日投票の滝沢市、同16日告示・21日投票の雫石町、8月18日告示・25日投票の盛岡市の市町村会議員選挙と8月30日告示・9月8日投票の県議会議員選挙に立候補を予定する8人となっている。（5月30日現在）

県議会議員では、組織内候補の木村幸弘氏が花巻選挙区（定数4）に4期連続の議席確保にむけ立候補を予定、精力的に政策を訴え運動を展開している。

7月4日には第25回参議院議員選挙の公示が予定されており連続した選挙の取り組みとなるが、雇用と平和を守る闘いは労働組合にとって最重要課題であり、権力・数の力を背景に国民生活に直結する重要法案を強行採決・成立させる安倍内閣に対し地方の場から国民本位の政治を求め、地区で共闘の仲間とともに友人・知人の紹介などの取り組みや支援と合わせて大切な一票の行使を訴えていこう。

◇県議選・花巻選挙区

木村幸弘（59）

社民党公認・現③

☎0198－24－3445

【プロフィール】
○誕生　1959年12月
○卒業　県立黒沢尻工業高校
○職歴　国鉄盛岡鉄道管理局北上保線区入職
○主な役職
現　岩手県議会議員（3期目）
現　環境福祉常任委員
現　社会民主党岩手県連合副代表

◇県議選・盛岡選挙区

小西和子（66）

社民党公認・現③

☎019－656－1524

【プロフィール】
○誕生　1953年4月
○卒業　岩手大学教育学部
○職歴　岩手県小学校教員
○主な役職
現　岩手県議会議員（3期目）
現　商工文教委員会委員
現　社会民主党岩手県連合代表
現　産業振興・働き方改革調査特別委員会委員

◇県議選・一関選挙区

千葉進（65）

社民党推薦・無①

☎0191－48－3386

【プロフィール】
○誕生　1954年3月
○卒業　国学院大学文学部
○職歴　岩手県高等学校教員
○主な役職
元　岩手県高等学校教職員組合書記長・委員長
現　岩手県議会議員（1期目）
現　商工文教委員会副委員長

◇県議選・奥州選挙区

佐々木ゆみこ（55）

社民党推薦・無新

☎080－3335－4555

【プロフィール】
○誕生　1963年7月
○卒業　県立水沢高等学校
○職歴　県職員（小中学校事務職員）2019年3月江刺第1中学校最後に退職
○主な役職
現　岩手県教職員組合県南支部特別執行委員
現　水沢原中第1町内会生活環境部長

◇県議選・滝沢選挙区

柳村一（59）

平環セ推薦・無①

☎019－681－9320

【プロフィール】
○誕生　1960年4月
○卒業　私立岩手高等学校
○職歴　医療法人社団松盛会介護老人保健施設ホスピー滝沢勤務・退職
○主な役職
現　岩手県議会議員（1期目）
現　議会運営委員会委員
現　農林水産委員会委員

◇盛岡市議選挙

中村亨（60）

社民党推薦・無②

☎019－658－1111

【プロフィール】
○誕生　1959年3月
○卒業　県立盛岡工業高校
○職歴　旧都南村役場採用合併後は盛岡市水道部に勤務・2011年3月退職
○主な役職
現　盛岡市議会議員（2期目）
現　飯岡地区町内会連絡協議会事務局長

選挙日程

△滝沢市議会議員▽
7月14日告示／21日投票
△雫石町議会議員▽
7月16日告示／21日投票
△盛岡市議会議員▽
8月18日告示／25日投票
△岩手県議会議員▽
8月30日告示／9月8日投票

※投票日に投票できない人は、期日前投票で確実に権利を行使しよう。

◇雫石町議選挙

坂下栄一（66）

社民党公認・現⑤

☎019－692－1996

【プロフィール】
○誕生　1952年11月
○卒業　県立金足農業高校
○職歴　日本電電公社入社社会党岩手県本部書記局入局・退職現在は農業に従事
○主な役職
現　雫石町議会議員（5期目）
現　議会選出町監査委員
現　議会総務産業常任委員

◇滝沢市議選挙

日向ゆうこ（62）

社民党推薦・無①

☎019－687－2517

【プロフィール】
○誕生　1957年3月
○卒業　早稲田大学
○職歴　岩手県山林種苗協同組合職員（一財）盛岡市身体障害者協議会専務理事
現　滝沢市議会議員（1期目）
現　滝沢市社会福祉協議会監事

東日本本部書記長・組織部長会議

会社施策、エルダー再雇用など地方実態を出し合い意見交換

国労東日本本部「各地方・地区本部、書記長・組織部長会議」が6月1日、東京地本2階会議室で開催され各地方から書記長、組織部長30人が参加した。（盛岡地本から菊池要悦書記長、及川孝組織部長が参加）

主催者を代表し東日本本部の大沼元委員長が、「これまでの取り組みを総括し、次の闘いに向け意思統一を図る会議にしたい」と挨拶。東日本本部から、①2019夏季手当獲得の取り組み②組織強化・拡大について③協約改訂・労働条件改善の取り組みについて提起され、とりわけ過半数代表者選挙についてはJR東日本で11事業所、JESSで13事業所など国労組合員が代表になった事業所の取り組み状況が報告された。また、矢継ぎ早に提案される会社施策の問題やエルダー再雇用に関する実態調査も含め、各地方から取り組みを報告し意見交換を行った。

8月に開催される東日本本部大会に向け、集中した運動の中から組織拡大に展開させていくことを確認し終了した。

生活・法律相談

専門の弁護士が直接相談に応じます。

生活・法律相談窓口のご案内

相　談　日： 2019年　7月11日（木）/9月12日（木）/11月14日（木）
2020年　1月　9日（木）/3月12日（木）/ 5月14日（木）

相談時間： すべての相談日とも13時から15時まで

相談受付電話： 019－622－5021　国鉄労働組合盛岡地方本部

相談場所： 盛岡市内丸6-15　EST21ビル　もりおか法律事務所

弁　護　士： 佐々木　良博

※ 相談者氏名、相談内容等については、外部には一切公表致しません。〈秘密厳守〉

労働問題からサラ金問題、財産相続問題など、何にでもご相談ください。

無料相談

一般財団法人　**国鉄労働会館　盛岡地方部**